大阪は‘まち’がほんまにおもしろい

大阪あそ歩 OSAKA ASOBO®

大阪は港町だ！

～大正内港を歩くと、あの港の光景が～

大阪港のなかにあるもうひとつの港、それが大正内港。多くの小型船が停泊し、桟橋からは大阪港の入口に架かる橋が望めます。大阪は港町だった、そんな実感がするまちをぐるりと歩きます。

① 昭和山

千島公園のなかにある標高33メートル、市内で2番目に高い山です。昭和44年（1969）に「港の見える丘」を造るという計画が開始され、当時の地下鉄工事の残土などダンプカー57万台分、約170万立方メートルの土砂を集めて造成されました。沖縄を偲ぶ蘇鉄が多く植栽されています。

② 大正内港

昭和9年（1934）の室戸台風で区内全域が冠水して甚大な被害を受けた大正区は、第二次世界大戦後の直後に大阪港復興計画の一部として、河川を拡幅して内港をつくり、その土砂で区内を盛り土するという区画整理事業をはじめました。昭和５０年（1975）に完成し、それまであった貯木場は住之江区に移転しました。大正内港は昭和41年（1966）から鉄鋼や雑貨を扱う国内貿易基地として機能を開始し、現在、年間取扱高125万トンに達しています。

③ はしけ桟橋

内港に突き出た200メートルの桟橋。両側に中小型船がぎっしりと並んで停泊し、いかにも港らしい光景を作り出しています。桟橋は手すりがないので、海に落ちないように注意して歩いてください。

④ 北村南公園（内港展望台）

内港の護岸地域に造られた公園で、市民が寄贈した桜が多く植樹されています。大阪港を望む夕陽がとてもきれいなスポットです。

⑤ 千歳橋

平成15年（2003）に完成した千歳橋は、海面から高さ28メートル、橋長365メートルの大型橋です。晴れた日には生駒、金剛、六甲の山並みが、また林立する市内のビル群がくっきりと見えます。よく見ると通天閣も見えます。近くには「港の見える丘・昭和山」がこんもりと見えます。大正時代に架けられた旧橋を内港造成時に架け替えました。対岸の鶴町に千歳橋の碑があります。

⑥ 千歳渡船

内港造成工事の時に外された旧千歳橋に代わって運航されたのがきっかけです。新橋が完成したのちも、通行者の便宜のために存続されることになりました。大正区内にある7ヵ所の「渡し」の一つです。

⑦ 北村公園と大正区の新田名

北村公園の北側を斜行する道は泉尾（いずお）新田の外堤跡です。この公園から北に広がる泉尾新田は、泉州出身の北村六右衛門が開発したところで、出身地にちなんで泉尾と名づけられました。また、開発者の名前を記念して公園の名前がつけられました。ここから南に広がる恩加島地区は、岡島嘉平次が開発した新田にちなんでつけられた名前です。岡島は東成郡千林村（現旭区）の出身で、千島新田、小林新田も開発しました。千島の「千」も、小林の「林」も「千林」からきています。大正区内にかつて存在していた運河や用水路に架けられた多くの橋の名前が北村公園のパネルにあります。区画整理事業で、現在はほとんどが消滅しています。

⑧ 万葉の碑

難波潟潮干に立ちて見わたせば 淡路の島に鶴（たつ）渡る見ゆ（『万葉集』巻七詠み人しらず）このあたりの海辺から遠くを見わたせば、淡路島の方に鶴が飛んでゆきます。古代に広がる美しい難波の海の光景を、いまの大正の海に重ねてみましょう。

【注意事項】 この地図は「大阪あそ歩」のまち歩きの資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局　電話06-6282-5930（財団法人大阪観光コンベンション協会内）「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。　http://www.osaka-asobo.jp　または　大阪あそ歩　でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2～3km、2～3時間程度を基準として作成されています。